平成27年度　目標管理シート （部別組織目標）

部名	財務部	部長名	岩本博文

組織目標	・新庁舎建設に向けた取り組みを進めます。 ・中期財政計画に沿った効率的・効果的な財政運営を図ります。 ・自主財源の安定確保、及び納税の公平性の実現に向けて、現年度課税分の収納率の向上、及び滞納処分の強化、並びに納税の利便性の向上に努めます。 ・多様化する財政需要に対し、事業の必要性、緊急性、優先度を考慮し、限られた財源を効率的・効果的に配分し、市民サービスの充実に努めます。 ・契約は手続きの透明性を高めながら、受注機会の均衡などの公平性、複数の見積もりにより有利な価格とする競争性、及び履行の確保を図ります。

重点施策番号	今年度取り組む重点施策とその具体的目標等				変更内容	中間レビュー （10月1日時点）		目標の達成状況（3月末時点見込）		次年度に向けて（引継ぎ事項）	
	重点施策 施策の体系	①具体的目標（当該年度で、何を（どのような現状を）どのような状態にするのか） ②課題、特記事項等		具体的目標を達成するための具体的な方法、手段、スケジュール等		・上半期（4月～9月）における進捗状況（活動実績等） ・下半期（10月～3月）に向けた課題等	中間進捗度	・目標達成のために行った取組（活動実績等） ・その取組による効果（達成できなかった事由、理由等）	達成度	①具体的目標（次年度において、どのような現状をどのような状態にしたいのか） ②課題、特記事項等	
財務部①	**魅力ある庁舎建設の推進** 3－1－6 6－1－1	①具体的目標	新庁舎の建設候補地は、現在の市役所（本庁）敷地内と決定しているが、どのような施設にするかは白紙状態のため、内部での検討を進めると共に、議会や市民の声も参考にしながら、新庁舎建設の基本構想を策定する。	○上半期 ・先進地を視察する ・基本構想検討専門部会で検討する ・市民検討委員会で検討する ・職員アンケート調査を行う など ○下半期 ・基本構想委託業者による構想策定を進める ・年内に基本構想を策定し、次年度の基本設計に備えた予算要求等を行う						①具体的目標	
		②課題、特記事項等	市議会での庁舎建設の所管について、常任の総務務委員会か、又は新たに特別委員会を設置するか、再度、議会に相談する必要がある。 また、市民の意見を聞く場やその手法についても検討する必要がある。							②課題・特記事項等	
財務部②	**公共施設等の最適配置による財政負担の軽減・平準化の推進** 6－1－2	①具体的目標	老朽化、又は合併により重複した公共施設等の維持管理・更新・整理統合など、将来想定される膨大な更新・改修コストに備えて、公共施設のマネジメントに取組む。	・先進地を視察する ・研修会を開催する ・2カ年事業として公共施設等総合管理計画策定事業に取組む <ポイント> 公共施設整備に対して、長期的な視点と全体最適の視点から考察を行うものである。						①具体的目標	
		②課題、特記事項等	市民ニーズの変化と公共施設サービス供給の量・内容とのミスマッチの実態把握や、厳しい予算制約の中でのインフラ施設の安全性の確保・維持が求められる。							②課題・特記事項等	

重点施策番号	今年度取り組む重点施策とその具体的目標等 重点施策 施策の体系	①具体的目標（当該年度で、何を（どのような現状を）どのような状態にするのか） ②課題、特記事項等		具体的目標を達成するための具体的な方法、手段、スケジュール等	変更内容	中間レビュー （10月1日時点） ・上半期（４月～９月）における進捗状況（活動実績等） ・下半期（１０月～３月）に向けた課題等	中間進捗度	目標の達成状況（3月末時点見込） ・目標達成のために行った取組（活動実績等） ・その取組による効果（達成できなかった事由、理由等）	達成度	次年度に向けて（引継ぎ事項） ①具体的目標（次年度において、どのような現状をどのような状態にしたいのか） ②課題、特記事項等	
財務部③	**中・長期的な財政運営** ６－１－２	①具体的目標	現金主義会計による予算・決算制度を補完するものとして、現金主義会計では見えにくいコストやストックを把握する「地方公会計」の整備を促進する。	地方公会計を整備する前提として市の財産台帳、即ち固定資産台帳の整備を行う必要があるので、2カ年事業として、固定資産台帳システム整備事業に取組む。 ＜ポイント＞ 固定資産台帳を整備することで、時価評価による資産評価が可能となる。これに伴い、遊休資産や売却可能資産の洗い出しが容易に行われ、公共施設マネジメントにつながる。						①具体的目標	
		②課題、特記事項等	国(総務省）は、全ての地方公共団体において、平成２９年度までに統一的な基準による財務書類等を作成するよう要請している。							②課題・特記事項等	
財務部④	**公平・公正な税務行政の推進** ６－１－２	①具体的目標	市民税及び固定資産税（特に償却資産）の課税客体の的確な把握を行い、未申告者に対する税務調査及び申告指導を強化する。	【市民税】 平成26年9月に運用を開始した新システムの下、正確で効率的な課税に取組む。 【資産税】 償却資産については、本年度から係を新設し本格的に実地調査に取り組む。 〇前期 税務署との協議、及び計画的に実地調査を行うための要領やマニュアルなどの整備を図り、体制を固める。 〇後期 償却資産の実地調査等を開始する。						①具体的目標	
		②課題、特記事項等	市民税や償却資産の未申告法人等に対する実態把握を深め、適正な課税客体を整理する必要がある。							②課題・特記事項等	
財務部⑤	**自主財源の確保** ６－１－２	①具体的目標	①他自治体に比べ魅力を欠いていた本市の「ふるさと納税」制度を、魅力あるものに見直し、寄附金の増額を図る。 ＜ふるさと八代元気づくり応援寄附金… ３千万円＞ ②納税の利便性の向上を図るためコンビニ収納の準備を進める。	①ふるさと納税 ・新たな申し込み方法・入金方法を導入する ・特産品の内容及び還元率の拡充を図る ・PRを強化する ・業務を一括して委託する など ②コンビ収納の準備 〇上半期 ・収納代行業者の選定及び契約締結を行う ・納付書様式を確認する ・システムを改修する など 〇下半期 ・市報・ホームページなどによる広報を行う など						①具体的目標	
		②課題、特記事項等	①国（総務省）は、地方公共団体がふるさと納税に係る周知、募集等の事務（返礼品の送付など）を適切に行うよう要請している。							②課題・特記事項等	

重点施策番号	重点施策 施策の体系	①具体的目標（当該年度で、何を（どのような現状を）どのような状態にするのか） ②課題、特記事項等		具体的目標を達成するための具体的な方法、手段、スケジュール等	変更内容	中間レビュー （10月1日時点） ・上半期（4月～9月）における進捗状況（活動実績等） ・下半期（10月～3月）に向けた課題等	中間進捗度	目標の達成状況（3月末時点見込） ・目標達成のために行った取組（活動実績等） ・その取組による効果（達成できなかった事由、理由等）	達成度	次年度に向けて（引継ぎ事項） ①具体的目標（次年度において、どのような現状をどのような状態にしたいのか） ②課題、特記事項等	
財務部⑥	**納税の公平性の確保** ６－１－２	①具体的目標	市税等収納率の向上に取組む。 市税現年分収納率　98.45% 〃 滞納繰越分収納率　18.50%	新たな滞納者を抑制するため、現年分滞納者への納税交渉の強化、及び過年度分滞納者への差し押さえ（滞納処分）を強化し、収納率向上に取組む。						①具体的目標	
		②課題、特記事項等	24年度市税収納率　98.35% 滞繰分　18.90% 25年度市税収納率　98.38% 滞繰分　15.26% （予測） 26年度市税現年分　98.13% 滞繰分　11.71%							②課題・特記事項等	
財務部⑦	**財政計画のローリング及び予算編成** ６－１－２	①具体的目標	財政の健全化を目標として、持続可能な財政運営を可能とする財政計画のローリング及び予算編成を行う。	【当初予算】 ローリングされた財政計画の方針、及び市長の掲げる政策の実現に向けた予算編成方針を策定する。 【補正予算】 経済情勢の変化に対応するために、できる限りの財源の捻出を図り、限られた財源の中で、必要な事業を実施するため、補正予算を編成する。						①具体的目標	
		②課題、特記事項等	日本経済再生に向けた、アベノミクスの「3本の矢」の一つである機動的な財政政策に対して、地方公共団体として的確に応じるため、積極的で迅速な予算対応を行う必要がある。							②課題・特記事項等	
財務部⑧	**適正な契約業務の推進** ６－１－１	①具体的目標	公共工事の品質確保の促進に関する法律の施行に伴い、平成20年度から試行してきた総合評価方式入札の継続試行を行い、公共工事の品質確保対策の取組みを推進する。 総合評価方式入札件数・・・5件	・各案件ごとに、「総合評価幹事会」、「総合評価審査会」を開催し、また「学識経験者」の意見を聴取する。 ○8月末まで ・上記の手続きを済ませ、総合評価方式による入札を実施する。						①具体的目標	
		②課題、特記事項等	国（国土交通省）では、「入札談合の再発防止対策」の具体的措置の一つとして、総合評価方式の拡大と充実を掲げている。							②課題・特記事項等	